

## オオイヌノフグリ (大犬陰囊)

名前の意味：イヌノフグリという在来の植物があり、それに似て大きいので名付けられた。イヌノフグリの果実の形は犬の陰囊いんのうに似ている。

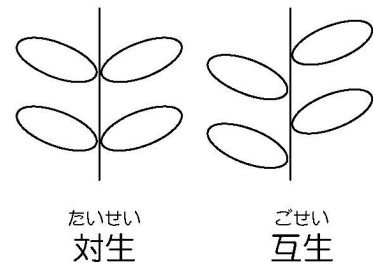
分類：双子葉類、ゴマノハグサ科、クワガタソウ属  
(ゴマノハグサ科の栽培植物さいばいしょくぶつ：キンギョソウ)

好きな場所：日当たりのよい道ばた、畑

分布：北海道、本州、四国、九州

原産地：西アジア

特徴：対生するぎざぎざの丸い葉、青い花、  
ハート型の実



種子の運ばれかた：そのまま地面に落ちる

花弁の数：4裂れつ、合弁ごうべん (花びらがつながったまま落ちる)

花の時期：3—5月

食べ方：食べられるけれどもおいしくない

見分け方：タチイヌノフグリとは、オオイヌノフグリのほうが花が大きいこと、茎の下部が斜めに立ち上がることで区別できる。

見つけやすさ ★

見分けやすさ ★

総合難易度そうごうなんいど ★

(★が多いほど量が少なく、見分け

にくく、難易度が高い)



タチイヌノフグリ

オオイヌノフグリ